

# News Release

2020年3月5日

工機ホールディングス株式会社

電動工具ブランド「HiKOKI(ハイコーキ)」  
**速い締付けで、打つようなスピード感！**  
**業界最速のねじ締め速度を実現した「ねじ打機」を発売**  
～トップクラスの低騒音を実現した「エアコンプレッサ」も発売～

電動工具・理化学機器を製造・販売する工機ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO:森澤篤)は、電動工具ブランド「HiKOKI(ハイコーキ)」から「ねじ打機」の新製品「高圧ねじ打機 WF 4HS」と「ねじ打機 WF 4AS」を2020年3月5日(木)より、「エアコンプレッサ」の新製品「エアコンプレッサ EC 1445H3 (CTN)/(CS)/(CN)」(3月発売予定)を、全国の電動工具取扱販売店などを通じて発売します。



WF 4HS



WF 4AS

「ねじ打機」は、主に住宅建築で内装用石膏ボードを天井や壁に貼る作業に用いられる工具で、動力源としての圧縮空気を発生させる装置「エアコンプレッサ」とセットで使用します。大量のねじを素早く締める必要があることから、安定した高い操作性と使い易さが求められます。

「WF 4HS」「WF 4AS」は、業界最速<sup>※1</sup>のねじ締め速度を実現したねじ打機です。当社従来製品<sup>※2</sup>に比べ、WF 4HSは、約1.7倍、WF 4ASは約1.2倍ねじ締め速度が速くなりました。また、以前より好評を得ている軽量とバランスの良さを活かしつつ、ねじ締め速度を上げたことで、打つようなスピード感でテンポ良くねじ打ち作業ができます。さらに、打込み時の反動を低減させたことで、軽い押付けでも安定した作業が可能です。また、マフラの交換などメンテナンスが楽に行えるよう設計されているほか、ビット交換の際に分解を必要としない構造となっており、使い易さが向上しました。

「EC 1445H3 (CTN)/(CS)/(CN)」は、当社従来製品<sup>※5</sup>から振動を80%低減させ<sup>※6</sup>、トップクラス<sup>※7</sup>の低騒音を実現したエアコンプレッサです。エアコンプレッサから発生する騒音を気にすることなく、快適に作業できます。



EC 1445H3 (CTN)

## <「高圧ねじ打機 WF 4HS」「ねじ打機 WF 4AS」の特長>

### ■業界最速<sup>※1</sup>のねじ締め速度を実現

打込み諸元を見直し、従来製品<sup>※2</sup>に比べ WF 4HS は約 1.7 倍、WF 4AS は約 1.2 倍ねじ締め速度が速くしました。これにより、打つようなスピード感を実現しています。



※1 2020 年 2 月現在。国内電動工具メーカーにおいて(当社調べ)(高圧ねじ打機、一般圧ねじ打機)

※2 当社従来製品 高圧ねじ打機 WF 4H3、ねじ打機 WF 4AR3 との比較。

※3 数値は参考値です。材料や条件により異なります。

### ■反動低減で安定したねじ締め作業

ピストンストロークを変更し、打込み時の反動を低減しました。これにより、軽い押付けでも安定したねじ締め作業を行えます。

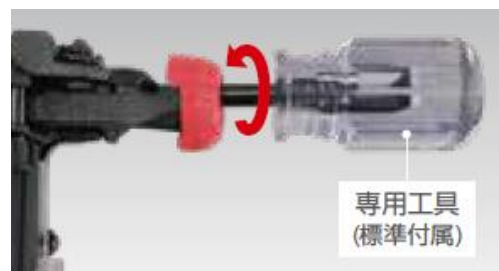


### ■お手入れ、交換ラクラク!

オイル分離構造により、効率よくオイルを吸着し、オイルの飛散を減らしています。また、スクリュキャップを回すだけで排気カバーの取り外しを可能にしたため、マフラの交換が工具を使わず簡単にできます。さらに、付属の専用工具を使って、現場でも本体を分解せずにビットを交換することができます。



らくらくマフラ交換



らくらくビット交換

■希望小売価格:

- ・WF 4HS 95,000 円(税別)
- ・WF 4AS 92,000 円(税別)

■仕様:

形名		WF 4HS	WF 4AS
使用ねじ	木下地用(JIS規格)	軸径: $\phi$ 4.2mm、長さ: 32~41 mm	
	木下地用(一般)	軸径: $\phi$ 3.9mm、長さ: 25~41 mm	
	鋼製下地用	軸径: $\phi$ 3.5mm、長さ: 25~41 mm <sup>※4</sup>	
ねじ連結方式		ロール連結ねじ(シート連結)	
ねじ装てん本数		100 本(1 巻)	
使用空気圧		1.76~2.26 MPa [18~23 kgf/cm <sup>2</sup> ]	0.59~0.78 MPa [6~8 kgf/cm <sup>2</sup> ]
機体寸法 (全長×全高×全幅)		292×298×119 mm	
質量		1.8 kg	1.8 kg
使用エアホース		高圧専用:内径 $\phi$ 5 mm 以上 (長さ 30m 以内)	内径 $\phi$ 8.5 mm 以上 (長さ 30m 以内)
標準付属品		ケース・保護メガネ・ビット交換工具・釘打機用オイル(50 ml)	

※4 WF 4AS は、銅製下地への石こうボード(12.5mm 厚)の 2 重張りにはご使用できません。

<「エアコンプレッサ EC 1445H3 (CTN) / (CS) / (CN)」の特長>

■業界トップクラス<sup>※7</sup>の低騒音を実現

ソフトな運転音と低騒音化を実現したことで、騒音が気になる住宅密集地や朝、晩、休日でも気にせずに作業ができます。



※5 当社従来製品 エアコンプレッサ EC 1445H3 との比較。

※6 カバー上部、パワーモードでの空気タンク内圧力 0~4.4MPa までの各軸実効値の 3 軸合成値での比較。

※7 2020 年 2 月現在。国内電動工具メーカーにおいて(当社調べ)(高圧エアコンプレッサ)

■希望小売価格:

- ・EC 1445H3(CTN) 210,000 円(税別)
- ・EC 1445H3(CS) 212,000 円(税別) ※高圧専用
- ・EC 1445H3(CN) 210,000 円(税別) ※一般圧専用

■仕様:

形名		EC 1445H3(CTN)	EC 1445H3(GS)	EC 1445H3(CN)
電源		単相交流 100V(50/60Hz 共用) <sup>※8</sup>		
モーター		直流ブラシレスモーター		
消費電力		1,500W		
空気タンク内最高圧力		4.4MPa(44.9kgf/cm <sup>2</sup> )		
運転制御 圧力	ON 圧力	4.0MPa(40.8kgf/cm <sup>2</sup> ) <sup>※9</sup>		
	OFF 圧力	4.4MPa(44.9kgf/cm <sup>2</sup> ) <sup>※9</sup>		
取出し 可能圧力	一般圧	0～約 0.8MPa (0～約 8.2kgf/cm <sup>2</sup> )	-	0～約 0.8MPa (0～約 8.2kgf/cm <sup>2</sup> )
	高圧	0～約 2.5MPa {0～約 25.5kgf/cm <sup>2</sup> }		-
回転速度		最大 2,300min <sup>-1</sup> {2,300 回/分} <sup>※9</sup>		
吐出し空気量	0.7MPa {7.1kgf/cm <sup>2</sup> }	95L/min(ISO1217(JIS B 8341)による測定値) <sup>※9</sup>		
	2.3MPa {23.5kgf/cm <sup>2</sup> }	80L/min(ISO1217(JIS B 8341)による測定値) <sup>※9</sup>		
空気タンク容量		12L		
機体寸法		幅 328mm×奥行 615mm×高さ 337mm		
質量		15.8kg		
騒音値 <sup>※10</sup>		パワーモード: 59dB(静音モード: 55dB)		
空気取出し口	一般圧	カプラ×2 個	-	カプラ×4 個
	高圧	高圧カプラ×2 個	高圧カプラ×4 個	-
コード		3 心・2.5m 3P 可倒式プラグ付		

※8 エンジン発電機や直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。(当社インバータ制御付エンジン発電機で、定格出力 2.0kW 以上のものは除く)

※9 パワーモード時。

※10 騒音値は、全負荷運転時に測定した値です。



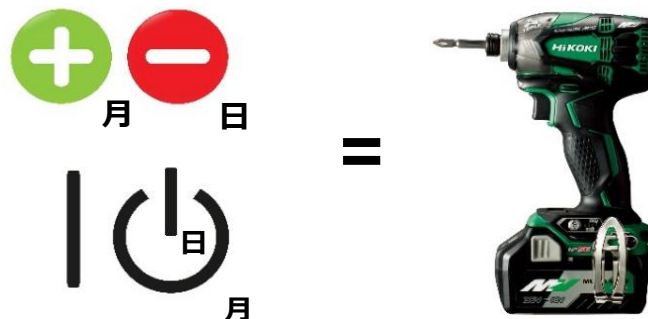
当製品の作業イメージ

工機ホールディングスは、今後とも、お客さま視点に立ったより良い製品とサービスの開発に努め、お客さまであるプロのための「極上」の製品体験を創出し、その情熱と信頼に応えていきます。

## <ご参考>

### 電動工具の日

2018年より、10月1日は「電動工具の日」である、と一般社団法人日本記念日協会によって認定されました。十月一日はプラスとマイナスドライバ、10月1日はイチとゼロでスイッチを意味し、電動+工具の記念日にふさわしいとされました。「HiKOKI」(ハイコーキ)ブランド要諦発表の日が電動工具の日になったことを歴史に刻み、業界発展のためにさらなる貢献をしております。



### 工機ホールディングス株式会社について

工機ホールディングス株式会社は、ドライバ、ドリルなど約 1,300 機種 of 電動工具、釘打機などのエア工具、刈払機や植木バリカンなどの園芸工具、クリーナや高圧洗浄機などの家庭用電化製品群および超遠心機などの理化学機器を製造販売するリーディングカンパニーの一つです。

70 年の歴史に裏打ちされた高い信頼性と世界最高水準の技術力を誇り、日本はもとより、欧州、米州、アジア、オセアニア、中近東、アフリカにおよぶ世界 95 カ国に販売拠点をもち、グローバルに事業を展開しています。